



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠 TEL 06-6348-1314

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	123,649	11.9	4,673	30.7	5,094	25.8	2,147	51.1
2020年3月期	140,311	0.3	6,746	0.8	6,868	4.0	4,387	7.3

(注) 包括利益 2021年3月期 8,334百万円 (378.7%) 2020年3月期 1,741百万円 (11.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	120.94	120.51	1.9	3.1	3.8
2020年3月期	245.00	243.88	4.0	4.1	4.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	159,629	115,178	71.1	6,419.62
2020年3月期	166,633	109,139	64.6	6,061.10

(参考) 自己資本 2021年3月期 113,554百万円 2020年3月期 107,566百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	8,595	1,169	9,335	9,717
2020年3月期	13,688	8,262	4,886	9,267

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期				115.00	115.00	2,042	46.9	1.9
2021年3月期				115.00	115.00	2,034	95.1	1.8
2022年3月期(予想)				140.00	140.00		44.2	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000		8,000		8,200		5,600		316.59

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	19,293,516 株	2020年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,604,826 株	2020年3月期	1,546,409 株
期中平均株式数	2021年3月期	17,758,226 株	2020年3月期	17,908,791 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	93,624	13.1	890	57.3	3,242	28.1	1,280	71.1
2020年3月期	107,741	1.8	2,086	11.4	4,510	6.8	4,427	17.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	72.11	71.86
2020年3月期	247.21	246.07

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期	138,466	109,611	109,611	109,611	79.0	6,187.72	6,187.72	
2020年3月期	143,181	105,700	105,700	105,700	73.7	5,945.37	5,945.37	

(参考) 自己資本 2021年3月期 109,452百万円 2020年3月期 105,513百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(追加情報) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. 決算補足説明資料 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛、休業要請等の影響を受けて個人消費や企業活動が著しく制限され、新型コロナウイルス感染症の再拡大による緊急事態宣言の再発令など、今後も予断を許さない状態が継続しています。また株式市場では、積極的な金融緩和政策もあり日経平均株価もバブル崩壊後高値を更新するなど大幅に上昇しており、実体経済との乖離が懸念されています。

当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」において、『集中と結集』をコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めておりますが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしていることから、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の最終年度を2022年3月期まで1年間延長し、2020年度はその影響を最小限とする取り組みを最優先と致しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、機能ソリューション事業は、各分野で影響を受けました。アパレル事業は、成長販路であるECチャネルでの大幅な販売拡大を進めましたが、店舗販売の低迷をカバーできませんでした。またライフクリエイト事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業の影響を受けました。

その結果、当連結会計年度の売上高は123,649百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は4,673百万円(前年同期比30.7%減)、経常利益は5,094百万円(前年同期比25.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,147百万円(前年同期比51.1%減)となりました。

(セグメント別の概況)

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、収縮ラベル用フィルムが外出・イベント自粛により飲料向けで低迷しましたが、包装用フィルムが内食需要で好調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、半導体市場向け製品が堅調に推移しましたが、オフィス関連向けOA製品が低迷しました。電子部品分野は、既存商品のリピート停滞と新商品の延期によりタッチパネルの販売が減少しました。メディカル分野は、外科手術の減少や医療機関への立ち入り制限の影響はあるものの回復基調となりました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は49,673百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は4,852百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

<アパレル事業>

アパレル事業全体では回復基調となってきたものの、緊急事態宣言再発令などにより、店頭販売の不振が影響しました。インナーウェア分野は、EC、ドラッグストアのチャネルが好調に推移し、ベーシック商品や、レディース商品が伸長しました。また、レグウェア分野は、一部レギンス等は好調に推移しましたが、外出・イベントの自粛によりストックキングの着用機会が大幅に減少しました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は62,640百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は2,306百万円(前年同期比15.9%減)となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、集客が伸び悩み苦戦しましたが、新規物件が賃貸事業に寄与しました。スポーツクラブ分野は、新型コロナウイルス感染症拡大により会員数が大きく減少し、再開後の会員の戻りも遅く影響を受けました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は11,976百万円(前年同期比19.9%減)、営業利益は482百万円(前年同期比59.4%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

総資産は159,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,003百万円減少しました。主な増加要因は、プラスチックフィルム分野でのベトナム新工場稼働等による機械装置及び運搬具の増加1,272百万円であり、主な減少要因は、新工場稼働等による建設仮勘定の減少3,940百万円、繰延税金資産の減少1,877百万円、仕掛品の減少958百万円、商品及び製品の減少763百万円であります。

負債は44,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,043百万円減少しました。主な減少要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の減少7,350百万円、支払手形及び買掛金の減少2,440百万円、退職給付に係る負債の減少1,801百万円であります。

純資産は115,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,039百万円増加しました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加4,939百万円、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加2,147百万円、退職給付に係る調整累計額の増加1,306百万円であり、主な減少要因は、配当による減少2,042百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

①キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ449百万円増加し、9,717百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して5,092百万円減少し、8,595百万円となりました。主なキャッシュ・インの要因は税金等調整前当期純利益3,356百万円、減価償却費6,155百万円、たな卸資産の減少1,723百万円、主なキャッシュ・アウトの要因は仕入債務の減少2,250百万円、法人税等の支払額1,306百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して9,431百万円減少し、1,169百万円の増加となりました。主なキャッシュ・インの要因は投資有価証券の売却による収入6,832百万円、主なキャッシュ・アウトの要因は固定資産の取得による支出4,796百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比較して4,449百万円減少し、9,335百万円の支出となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少6,420百万円、配当金の支払い2,036百万円であります。

②キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	63.8	64.9	64.6	64.6	71.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.2	64.3	47.7	38.7	46.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.1	3.2	2.3	1.8	2.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	70.2	46.3	49.5	59.0	77.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

当社グループは、2014年6月に2021年3月期までの中期経営計画「CAN20」を発表しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による経営への影響を鑑み、中期経営計画の最終年度を2022年3月期まで延長することとしました。

中期経営計画「CAN20」では、2014年度～2016年度を第1フェーズ、2017年度～2021年度を第2フェーズとし、3つの基本戦略である①セグメント事業戦略、②新規事業創出、③経営基盤強化の強力推進により、グループ経営ビジョンである「ゲンゼしかできない「ここちよさ」をお客さまに提供するグローバル企業としての社会貢献」の実現に注力しております。セグメント事業戦略では、『集中と結集』をキーコンセプトにしたSBU（戦略ビジネスユニット）分類評価により重点事業領域を明確化し、リソースの傾斜配分により既存事業の再成長の実現を目指しております。新規事業創出では、組織横断でのCFA（クロスファンクショナルアプローチ）プロジェクトにより当社グループの経営資源を組み合わせることで効率的に新規事業を創出・育成し、QOL（クオリティ オブ ライフ）の向上に貢献する健康・医療分野などの事業拡大に取り組んでおります。また、経営基盤強化では、コア技術力・人材力・グローバル対応力・コーポレートブランド価値など無形資産の強化に努めております。

機能ソリューション事業では、プラスチックフィルム分野は環境対応型新商品の市場投入に加え、国内ではサーキュラーファクトリー（資源循環型工場）実現に向けたプロジェクトを推進します。また、デジタル技術導入・横展開により生産革新を進める一方、米国・中国を中心とした海外拡販を強化してまいります。エンジニアリングプラスティクス分野は、主力のOA市場向け製品のシェア拡大に加え、健康・医療関連ならびに産業機器向け製品の拡販を目指します。メディカル分野は、米国・中国を海外事業重点拠点として販売を強化するとともに、国内では2019年度に子会社化した株式会社メディカルユーアンドエイを活用した拡販と次期大型新商品の上市を目指します。

アパレル事業では、消費行動変化に伴い伸長加速しているECチャネルで更なる拡販を強化するとともに、Withコロナに対応したデジタル営業改革を推進します。インナーウェア分野は、消費者ニーズの天然素材回帰、カジュアル化、健康志向に即した新素材・新商品をYG、BODYWILDブランド等で投入するとともに、差異化ファンデーションの展開強化を通じてレディスインナーの拡販を図ります。レッグウェア分野は、消費者ニーズの変化に基づく市場対応力を強化し、レギンス・ボトムカテゴリーの新商品を積極的に展開するとともに、最適生産体制によるコスト構造改革を推進します。

ライフクリエイイト事業では、商業施設の収益力向上の推進や投資効率を重視した物件別管理を強化してまいります。また、スポーツクラブ分野は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が当面継続すると想定されますが、感染防止対策を万全にした上で、地域・店舗特性に合わせた会員拡大策を講じてまいります。

**(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当**

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき、安定的・継続的な利益還元を実現してまいります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当期は大幅な減益となりましたが、これらの影響は一時的なものであり、中期的な業績見通しについては従来と大きく変えていないこと、および総還元性向100%の範囲内であることから、当期の配当につきましては、1株当たり115円を予定しております。

また、次期の配当につきましては、1株当たり140円を予定しております。

**2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方**

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。IFRSの適用については、関連情報の収集につとめ、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,267	9,717
受取手形及び売掛金	28,099	27,715
商品及び製品	21,857	21,094
仕掛品	6,672	5,714
原材料及び貯蔵品	4,487	4,302
短期貸付金	604	580
その他	3,393	2,983
貸倒引当金	△5	△17
流動資産合計	74,377	72,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	119,227	122,045
減価償却累計額	△79,527	△82,355
建物及び構築物(純額)	39,699	39,689
機械装置及び運搬具	93,576	94,587
減価償却累計額	△84,121	△83,859
機械装置及び運搬具(純額)	9,455	10,727
工具、器具及び備品	7,694	7,823
減価償却累計額	△6,224	△6,430
工具、器具及び備品(純額)	1,470	1,393
土地	12,287	12,173
リース資産	1,189	1,199
減価償却累計額	△898	△1,036
リース資産(純額)	291	162
建設仮勘定	4,717	776
有形固定資産合計	67,921	64,923
無形固定資産		
ソフトウェア	861	663
その他	913	948
無形固定資産合計	1,774	1,612
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591	15,638
長期貸付金	7	3
繰延税金資産	3,452	1,574
その他	3,577	3,859
貸倒引当金	△69	△71
投資その他の資産合計	22,560	21,004
固定資産合計	92,256	87,539
資産合計	166,633	159,629



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,271	7,830
短期借入金	5,513	4,913
コマーシャル・ペーパー	6,600	500
1年内返済予定の長期借入金	560	7,301
未払法人税等	635	397
賞与引当金	1,437	1,436
設備関係支払手形	548	96
その他	8,701	8,387
流動負債合計	34,267	30,863
固定負債		
長期借入金	11,973	4,581
債務保証損失引当金	148	44
退職給付に係る負債	5,446	3,645
長期預り敷金保証金	4,965	4,750
その他	692	566
固定負債合計	23,227	13,587
負債合計	57,494	44,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,701	6,674
利益剰余金	84,351	84,456
自己株式	△6,727	△6,904
株主資本合計	110,397	110,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,617	2,321
繰延ヘッジ損益	57	16
土地再評価差額金	△45	△45
為替換算調整勘定	507	389
退職給付に係る調整累計額	△731	575
その他の包括利益累計額合計	△2,830	3,256
新株予約権	187	158
非支配株主持分	1,385	1,465
純資産合計	109,139	115,178
負債純資産合計	166,633	159,629

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	140,311	123,649
売上原価	97,528	85,666
売上総利益	42,782	37,982
販売費及び一般管理費	36,036	33,309
営業利益	6,746	4,673
営業外収益		
受取利息	43	36
受取配当金	529	439
固定資産賃貸料	328	271
助成金収入	14	212
その他	218	194
営業外収益合計	1,135	1,155
営業外費用		
支払利息	220	125
固定資産賃貸費用	306	264
為替差損	32	4
操業準備費用	144	-
P C B 処理費用	40	87
その他	267	251
営業外費用合計	1,012	734
経常利益	6,868	5,094
特別利益		
固定資産売却益	1,058	170
投資有価証券売却益	256	1,466
その他	149	34
特別利益合計	1,464	1,671
特別損失		
固定資産除売却損	583	172
投資有価証券売却損	218	1,428
減損損失	867	402
新型コロナウイルス感染症による損失	-	963
工場移転費用	390	139
その他	374	304
特別損失合計	2,433	3,410
税金等調整前当期純利益	5,899	3,356
法人税、住民税及び事業税	1,418	703
法人税等調整額	△18	390
法人税等合計	1,399	1,093
当期純利益	4,500	2,262
非支配株主に帰属する当期純利益	112	115
親会社株主に帰属する当期純利益	4,387	2,147

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	4,500	2,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,842	4,939
繰延ヘッジ損益	37	△40
為替換算調整勘定	△233	△134
退職給付に係る調整額	279	1,306
その他の包括利益合計	△2,758	6,071
包括利益	1,741	8,334
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,622	8,234
非支配株主に係る包括利益	118	99

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	26,071	6,754	82,050	△5,293	109,583
当期変動額					
剰余金の配当			△1,995		△1,995
親会社株主に帰属する当期純利益			4,387		4,387
連結範囲の変動			△81		△81
土地再評価差額金の取崩			△9		△9
自己株式の取得				△1,964	△1,964
自己株式の処分		△53		530	477
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△53	2,301	△1,433	813
当期末残高	26,071	6,701	84,351	△6,727	110,397

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	224	19	△54	745	△1,011	△76	260	1,301	111,068
当期変動額									
剰余金の配当									△1,995
親会社株主に帰属する当期純利益									4,387
連結範囲の変動									△81
土地再評価差額金の取崩									△9
自己株式の取得									△1,964
自己株式の処分									477
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,842	37	9	△237	279	△2,753	△73	83	△2,743
当期変動額合計	△2,842	37	9	△237	279	△2,753	△73	83	△1,929
当期末残高	△2,617	57	△45	507	△731	△2,830	187	1,385	109,139

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	26,071	6,701	84,351	△6,727	110,397
当期変動額					
剰余金の配当			△2,042		△2,042
親会社株主に帰属する当期純利益			2,147		2,147
自己株式の取得				△391	△391
自己株式の処分		△26		214	187
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△26	105	△177	△99
当期末残高	26,071	6,674	84,456	△6,904	110,298

	その他の包括利益累計額						新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△2,617	57	△45	507	△731	△2,830	187	1,385	109,139
当期変動額									
剰余金の配当									△2,042
親会社株主に帰属する当期純利益									2,147
自己株式の取得									△391
自己株式の処分									187
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,939	△40	-	△118	1,306	6,086	△28	79	6,138
当期変動額合計	4,939	△40	-	△118	1,306	6,086	△28	79	6,039
当期末残高	2,321	16	△45	389	575	3,256	158	1,465	115,178

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,899	3,356
減価償却費	6,390	6,155
減損損失	867	402
のれん償却額	133	133
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	174	58
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62	0
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	105	39
受取利息及び受取配当金	△573	△476
支払利息	220	125
為替差損益 (△は益)	△31	4
固定資産除売却損益 (△は益)	△469	1
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△38	△37
新型コロナウイルス感染症による損失	-	963
受取和解金	△128	-
工場移転費用	390	139
負ののれん発生益	△21	-
その他の特別損益 (△は益)	250	84
その他の損益 (△は益)	△57	△31
売上債権の増減額 (△は増加)	3,385	206
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△683	1,723
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△239	448
仕入債務の増減額 (△は減少)	400	△2,250
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	465	△215
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△404	△276
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△471	△44
小計	15,621	10,523
利息及び配当金の受取額	573	478
利息の支払額	△232	△110
和解金の受取額	128	-
工場移転費用の支払額	△228	△107
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	-	△881
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,174	△1,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,688	8,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△9,599	△4,796
固定資産の売却による収入	2,195	407
固定資産の除却による支出	△438	△85
投資有価証券の取得による支出	△1,276	△975
投資有価証券の売却による収入	1,808	6,832
子会社出資金の取得による支出	△84	-
貸付金の増減額 (△は増加)	68	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,080	-
その他	145	△211
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,262</b>	<b>1,169</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△379	△6,420
長期借入れによる収入	1,643	-
長期借入金の返済による支出	△2,454	△550
自己株式の取得による支出	△1,964	△391
自己株式の売却による収入	477	187
配当金の支払額	△1,989	△2,036
非支配株主への配当金の支払額	△34	△20
その他	△184	△104
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,886</b>	<b>△9,335</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△119	20
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>420</b>	<b>449</b>
現金及び現金同等物の期首残高	8,102	9,267
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	744	-
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>9,267</b>	<b>9,717</b>



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社グループ従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入していましたが、2020年6月をもって終了いたしました。

①取引の概要

本プランは、「ゲンゼグループ従業員持株会」（以下「持株会」という。）に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「ゲンゼグループ従業員持株会専用信託」（以下、「従持信託」という。）を設定し、従持信託は、その設定後3年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。

その後は、従持信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、かかる保証行為に基づき、当社が当該残債を弁済することになります。

②従持信託に残存する自社の株式

従持信託に残存する当社株式を、従持信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度92百万円、13千株であります。なお、当連結会計年度における当該自己株式の計上はありません。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度末に253百万円を計上しております。なお、当連結会計年度末における当該借入金の計上はありません。

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは、連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを実施しております。

会計上の見積りに用いた新型コロナウイルス感染症の収束時期については、2022年度以降も継続することを見込んでおりますが、その影響については、徹底した感染防止対策の実施やコロナ禍を前提とした事業活動の推進等により、2022年3月までは一定程度の影響があるものの、その後は徐々に回復に向かっていくものと見込んでおります。

新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に事業部門を置く組織形態（カンパニー、事業部等）をとっており、各事業部門は取り扱う製品について戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能ソリューション事業」、「アパレル事業」及び「ライフクリエイティブ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「機能ソリューション事業」は、プラスチックを加工した機能資材、メディカル材料、機械類の製造・販売を行っております。「アパレル事業」は、衣料品及び繊維資材の製造・販売を行っております。「ライフクリエイティブ事業」は、商業施設の運営、スポーツクラブの運営、緑化樹木の販売、太陽光発電事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用した会計処理の原則及び手続と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	56,205	69,297	14,808	140,311	—	140,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155	194	137	487	△ 487	—
計	56,361	69,491	14,945	140,798	△ 487	140,311
セグメント利益	6,120	2,743	1,187	10,052	△ 3,306	6,746
セグメント資産	54,073	53,995	33,908	141,976	24,656	166,633
その他の項目						
減価償却費	2,341	1,333	2,152	5,827	562	6,390
のれんの償却額	88	45	—	133	—	133
負ののれん発生益	21	—	—	21	—	21
減損損失	—	—	867	867	—	867
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,683	1,046	2,297	5,027	352	5,380

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△3,306百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2)セグメント資産の調整額24,656百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,363	62,439	11,846	123,649	—	123,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	309	201	130	641	△ 641	—
計	49,673	62,640	11,976	124,290	△ 641	123,649
セグメント利益	4,852	2,306	482	7,641	△ 2,968	4,673
セグメント資産	51,342	53,657	31,792	136,793	22,836	159,629
その他の項目						
減価償却費	2,486	1,230	1,962	5,678	476	6,155
のれんの償却額	88	45	—	133	—	133
減損損失	—	—	402	402	—	402
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,386	814	414	7,615	230	7,845

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△2,968百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2)セグメント資産の調整額22,836百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	その他	合計
116,493	23,817	140,311

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
58,673	9,247	67,921

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	その他	合計
104,311	19,337	123,649

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
56,487	8,435	64,923

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
当期償却額	88	45	—	133	—	133
当期末残高	280	292	—	573	—	573

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
当期償却額	88	45	—	133	—	133
当期末残高	191	247	—	439	—	439

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	6,061.10円	6,419.62円
1株当たり当期純利益	245.00円	120.94円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	243.88円	120.51円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,387	2,147
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	4,387	2,147
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,908	17,758
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	82	63
(うち新株予約権)(千株)	(82)	(63)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	109,139	115,178
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1,572	1,623
(うち非支配株主持分)(百万円)	(1,385)	(1,465)
(うち新株予約権)(百万円)	(187)	(158)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	107,566	113,554
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	17,747	17,688

3. 株主資本において自己株式として計上されている「ゲンゼ従業員持株会専用信託」に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度40千株、当連結会計年度2千株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は前連結会計年度13千株、当連結会計年度1株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 決算補足説明資料

①当期(2021年3月期)の業績等

(単位:百万円)

	当期	業績予想	前期	増減 ( )は増減率	
				対業績 予想	対前期
売上高	123,649	131,000	140,311	(△5.6) △7,351	(△11.9) △16,662
営業利益	4,673	4,500	6,746	(3.8) 173	(△30.7) △2,072
経常利益	5,094	4,500	6,868	(13.2) 594	(△25.8) △1,773
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,147	2,100	4,387	(2.2) 47	(△51.1) △2,240
総資産	159,629		166,633		(△4.2) △7,003
たな卸資産	31,110		33,017		(△5.8) △1,907
固定資産	87,539		92,256		(△5.1) △4,716
純資産	115,178		109,139		(5.5) 6,039
金融収支 (受取利息・配当)	351 (476)		352 (573)		△1 (△96)
(支払利息)	(△125)		(△220)		(95)
設備投資	7,845		5,380		2,465
減価償却	6,289		6,502		△213

<業績概要>

- ・各セグメントともに新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収減益
- ・機能ソリューション事業は、各分野で影響を受け減収減益
- ・アパレル事業は、成長販路であるECチャネルでの大幅な販売拡大を進めたが店舗の低迷をカバーできず減収減益
- ・ライフクリエイト事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業の影響を受け減収減益

<主たる特別損益>

- ・新型コロナウイルス感染症による損失 9億円
- ・減損損失 4億円

<キャッシュ・フロー>

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは85億円(前期比50億円減)

<配当>

- ・当期配当は、1株当たり115円を予定

<次期予想>

- ・プラスチックフィルム分野での環境対応型商品開発強化、アパレル事業でのECチャネルによる拡大と生産革新等により、増収増益の見込み
- ・次期配当は、1株当たり140円を予定

【自己株式の取得等の状況】

取得した自己株式	100 千株	391 百万円
処分した自己株式	42 "	214 "
前期末に保有していた自己株式	1,546 "	6,727 "
当期末に保有している自己株式	1,604 "	6,904 "

※ 取得した自己株式には取締役会決議による取得99千株、386百万円が含まれております。

※ 自己株式には「ゲンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

②事業のセグメント別業績

(単位:百万円)

		当期		前期		増減	
		金額	ウェイト	金額	ウェイト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	49,673	40.0	56,361	40.0	△6,687	△11.9
	アパレル	62,640	50.4	69,491	49.4	△6,850	△9.9
	ライフクリエイト	11,976	9.6	14,945	10.6	△2,969	△19.9
	小計	124,290	100.0	140,798	100.0	△16,507	△11.7
	消去	△641		△487		△154	-
	連結合計	123,649		140,311		△16,662	△11.9
営業利益	機能ソリューション	4,852	63.5	6,120	60.9	△1,267	△20.7
	アパレル	2,306	30.2	2,743	27.3	△436	△15.9
	ライフクリエイト	482	6.3	1,187	11.8	△705	△59.4
	小計	7,641	100.0	10,052	100.0	△2,410	△24.0
	消去	△2,968		△3,306		337	-
	連結合計	4,673		6,746		△2,072	△30.7

③主要経営指標

項目	当期	前期	増減	項目	当期	前期	増減		
総資産営業利益率	%	2.9	4.0	△1.1	総資産回転率	回	0.76	0.83	△0.07
総資産経常利益率	%	3.1	4.1	△1.0	自己資本比率	%	71.1	64.6	6.5
売上高営業利益率	%	3.8	4.8	△1.0	自己資本当期純利益率	%	1.9	4.0	△2.1
売上高経常利益率	%	4.1	4.9	△0.8	1株当たり当期純利益	円	120.94	245.00	△124.06
				潜在株式調整後					
				1株当たり当期純利益	円	120.51	243.88	△123.37	
				1株当たり純資産	円	6,419.62	6,061.10	358.52	



④キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期	前期	増減	当期の主たる内訳
営業活動によるCF	8,595	13,688	△5,092	税金等調整前当期純利益3,356、減価償却費6,155、 たな卸資産の減少1,723、 仕入債務の減少△2,250、法人税等の支払額△1,306
投資活動によるCF	1,169	△8,262	9,431	投資有価証券の売却による収入6,832 固定資産の取得による支出△4,796
財務活動によるCF	△9,335	△4,886	△4,449	短期借入金及びコマース・ペーパーの減少△6,420 配当金支払△2,036
換算差額	20	△119	140	
現金及び現金同等物の増減額	449	420	29	
連結範囲の変更による増減額	-	744	△744	
現金及び現金同等物の期末残高	9,717	9,267	449	

⑤事業部門の設備投資及び減価償却額

(単位：百万円)

	当期		前期		対前期増減	次期年間計画		対当期増減	
	金額	ウェイト	金額	ウェイト		計画	ウェイト		
設備投資	(うち海外) 機能ソリューション	(3,219) 6,386	81.4	(256) 1,683	31.3	4,703	(600) 3,100	42.5	△3,286
※無形固定資産を含む	(うち海外) アパレル	(295) 814	10.4	(578) 1,046	19.4	△232	(300) 2,200	30.1	1,386
	ライフクリエイト	414	5.3	2,297	42.7	△1,883	900	12.3	486
	全社	230	2.9	352	6.5	△122	1,100	15.1	870
	合計	(3,514) 7,845	100.0	(835) 5,380	100.0	2,465	(900) 7,300	100.0	△545
減価償却費	機能ソリューション	2,575	40.9	2,408	37.0	167	2,700	42.2	125
※のれん償却額を含む	アパレル	1,275	20.3	1,378	21.2	△103	1,400	21.9	125
	ライフクリエイト	1,962	31.2	2,152	33.1	△190	1,900	29.7	△62
	全社	476	7.6	562	8.7	△86	400	6.2	△76
	合計	6,289	100.0	6,502	100.0	△213	6,400	100.0	111

【次期の主要投資計画】

- ・インナーウェア生産設備 1,500百万円
- ・プラスチックフィルム生産設備 1,300 〃

⑥通期業績予想

(単位：百万円)

	次期予想	当期
売上高	135,000	123,649
営業利益	8,000	4,673
経常利益	8,200	5,094
親会社株主に帰属する当期純利益	5,600	2,147

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

⑦セグメント別 通期業績予想

(単位：百万円)

		次期予想		当期	
		金額	ウェイト	金額	ウェイト
売上高	機能ソリューション	56,100	41.3	49,673	40.0
	アパレル	66,000	48.7	62,640	50.4
	ライフクリエイト	13,500	10.0	11,976	9.6
	小計	135,600	100.0	124,290	100.0
	消去	△600		△641	
	連結合計	135,000		123,649	
営業利益	機能ソリューション	7,200	63.7	4,852	63.5
	アパレル	3,200	28.3	2,306	30.2
	ライフクリエイト	900	8.0	482	6.3
	小計	11,300	100.0	7,641	100.0
	消去	△3,300		△2,968	
	連結合計	8,000		4,673	